

## 編集後記

未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、施設の被災とともに多くの図書館でその貴重な資料を失うことになりました。稀少なものを災害から守ること、被災した資料の修復、蔵書の再構築など、改めて図書館の危機管理が問われています。東北地方の甚大な被害に比するものではありませんが、当大学図書館の被害状況と復旧については、今後の災害時の指針となるよう『東日本大震災に伴うメディアセンターの被害状況および講じた対策について』に記録を残しました。

今号の特集は、昨年に引きつづき新システムです。「KOSMOS III 導入後の現状と課題」と題して、システム、レファレンス、閲覧、テクニカル（受入・目録）部門からの報告となります。前号では、「悪戦苦闘から成功へ」という海外パッケージシステム導入までのさまざまな報告をいたしましたが、導入後のそれは必ずしも順調なことばかりではないという厳しい現実が垣間見えるものとなっています。一般的に新システムへの移行は、立ち上げから軌道に乗せ、そこからさらなる発展へと、すべての段階で困難をとまなうものであるということをお伝えできればと思います。

特集のほかには、『電子学術書利用実験プロジェクト—新たな電子学術情報への挑戦—』で、出版社と図書館の連携による「貴重な日本語コンテンツ」状態を打破するための果敢な試みを紹介しています。この新しい試みは学生をモニターにして実験をすすめており、今後の成果と詳細な報告が期待できる内容となっています。最近、古くから続いていた和雑誌が相次いで休刊されるなど電子化にのみこまれそうになるなか、三田に新たに設置された「萬來舎文庫」や「展示室」、看護医療の「ぼればれ文庫」の記事で一息ついていただければ幸いです。

最後に、トロント大学図書館での研修報告、中国のデジタル化視察、延世大学訪問などの海外レポートが充実していることを申し添えておきます。実際に見ること、実際に話を聞くことから得られる知見の大切さを痛感します。

(佐藤裕子)

### 誌名変遷

八角塔 : 1号(昭42(1967).7) - 6号(昭45(1970).3)  
 KULIC (ISSN 0913-0705) : 1号(昭45(1970).10) - 26号(1992.11)  
 MediaNet (ISSN 0919-8474) : No. 1(1993.11) -